

新しい緑化木



ニーズの変化・多様化と緑化環境の変化に対応できるように、次の観点から新しい緑化木を開発しました。

海沿いや湿地など緑化しにくい環境にも適応するもの。
花や実、紅葉などに特徴あるもの。
特別な利用法やエピソードがあるもの。

1. カイノキ（ウルシ科）



別名：ランシンボク 中国名：楷木、爛心木、黄蓮木

樹性：落葉高木

自生環境：中国、台湾。

形態的特性：雌雄異株。葉は羽状複葉、果実は水色、赤、ベージュの3色で水色だけが充実種子。

造園的特性：成長が早く、雄大な自然形で秋の黄葉を楽しむ。日当たりのよい肥沃地を好む。

利用方法：広い場所で記念樹あるいは孤立木として仕立てる。

トピックス：孔子の墓所に植えられたことから学問の聖木とされ、また中国の科挙（官僚試験）の合格者にこの木の杓が授けられた。

2. マルバニッケイ (クスノキ科)



別 名：コウチニッケイ

樹 性：常緑小高木

自 生 環 境：九州西海岸～トカラ列島の海岸岩場。

形態的特性：葉は楕円形で厚く光沢があり、果実は楕円形で、紫黒色に熟す。

造園的特性：潮風や乾燥に強い。

利 用 方 法：海岸の防風垣や緑化木に適する。

トピックス：自生地が限られ、準絶滅危惧植物に指定される。

そ の 他：成長は遅く、移植が難しい。移植するにはポット苗を使うか、葉を減らす。

3. コバンモチ (ホルトノキ科)



樹 性：常緑高木

自 生 環 境：日本西南部、中国、台湾。谷沿いの常緑林内。

形態的特性：雌雄異株。葉は披針形

造園的特性：枝が鹿角状に伸びる。古い葉は落葉前に赤くなる。

利 用 方 法：ホルトノキより耐寒性があるが、大気汚染や潮風に弱い。自然樹形を楽しむ。

主な病虫害：ファイトプラズマ病

トピックスなど：黒紫色に熟す果実は食べられる。

4. ハクウンボク (エゴノキ科)



樹 性：落葉小高木

自 生 環 境：日本、中国、朝鮮の落葉林内。

形態的特性：葉は大きな円形、裏は白味を帯びる。

造園的特性：5月頃咲く花は房状に垂れる。

利 用 方 法：日当たりのよい場所で、自然樹形で葉や花、樹皮などを楽しむ

トビックス：花の咲く様を白い雲にたとえた。

英名は、"Fragrant Snowbell" 「香りの良い雪の鐘」

そ の 他：大気汚染に弱く、内陸の森林公園などに適す。種子からロウソクが作られていた。

5. カラコギカエデ (カエデ科)



樹 性：落葉小高木。

自 生 環 境：日本、中国、朝鮮、東シベリアの湿地や河畔。

形態的特性：葉は楕円形で、浅く三裂する。夏に果実が赤く色づく。

造園的特性：過湿土壌でも成育し、カエデの中ではカミキリムシの被害に遭いにくい。

寒冷地では赤く紅葉する。

利 用 方 法：湿地や河畔の緑化木に適する。

トビックス：樹皮が剥がれた様子を鹿の子に見立てたのが語源。

そ の 他：根元から萌芽しやすいので、こまめに剪定する。

6. ギンバイカ（フトモモ科）



別 名：イワイノキ。銀梅花。 英 名：Myrtle マーテル、ミルテ

樹 性：常緑低木

自 生 環 境：地中海沿岸の乾燥地。

形態的特性：葉は披針形で対生。夏に梅に似た白い花をつける。花、葉、果実に芳香がある。

造園的特性：2～3m位まで成長。剪定にも耐えて、花をよく付ける。

利 用 方 法：狭い場所の緑化木として適する。花、葉、果実など四季を通じて楽しめる。

トピックス：葉や実はスパイス・ハーブとして使われる。ビーナスの神木とされ、結婚式の花輪に利用される。花言葉は愛。

問い合わせ先

実物を見たい場合や特徴、病虫害などについて知りたいときは

森林林業技術センター（0942-45-7870）

<http://ffrec.pref.fukuoka.lg.jp/>

苗木の入手については

福岡県樹芸組合連合会（樹芸連）（0943-73-0130）

<http://www.jyugei.org/>

新しい緑化木

平成19年3月

発行：福岡県森林林業技術センター

Tel.0942-45-7870 Fax.0942-45-7901

福岡県行政資料

分類番号	所属コード
PF	0803201
登録年度	登録番号
18	0005